

2017年6月28日

救命救急センターに、過去に入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名]

くも膜下出血患者において、デクスメトミジンが神経学的転帰に与える影響を調べる
後ろ向き研究

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 岡崎智哉 救命救急センター 医員

[研究の目的]

デクスメトミジンという薬剤は、プロポフォール、ミダゾラムなどといったくも膜下出血の患者さんに対して使用する代表的な鎮静薬です。この薬剤はくも膜下出血の動物実験では神経保護効果が報告されています。くも膜下出血の患者さんにおいて、デクスメトミジンが使用されたかどうか、およびその使用量と退院時の転帰との関連を調査することでくも膜下出血患者の治療の向上に役立つことが期待されます。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2009年1月から2017年3月の間に、くも膜下出血で救命救急センターに入院された方で、開頭クリッピング術もしくはコイル塞栓術が施行された患者さん

○利用する診療情報

年齢、性別、身長、体重、 Hunt and Kosnik grade

動脈瘤の治療方法（カテーテル治療または手術加療）、人工呼吸器の使用日数

入院24時間以内の乳酸値、

入院24時間以内のデクスメトミジンの使用の有無および使用量

退院時神経学的評価、徐脈かつ低血圧の発生の有無

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院救命救急センター

担当医師 岡崎 智哉

電話 087-891-2392 FAX 087-891-2393